

週間漁海況情報—2018年第30号

平成30年7月31日

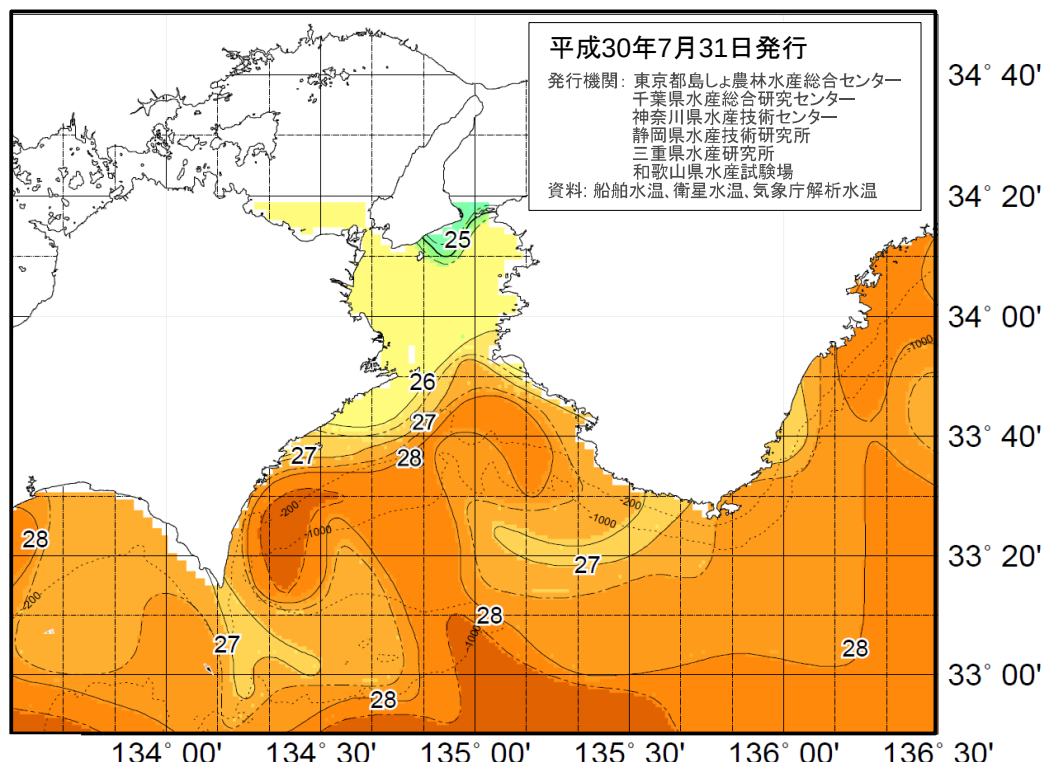
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温（7月25日～7月31日）

黒潮は、室戸岬沖では、先週に引き続き「やや離岸」で推移した。潮岬沖では「離岸」で推移した。

徳島沿岸の水温は、播磨灘で25℃台、紀伊水道で25℃台、海部沿岸で25℃～27℃台となっている。海部沖合では黒潮北縁からの暖水波及がみられる。黒潮の表面水温は、28℃～29℃台であった。



※黒潮の離接岸の表現

室戸岬沖 接岸：～25NM やや離岸：25～45NM 離岸45～65NM 著しく離岸：65NM～
潮岬沖 接岸：～26NM やや離岸：25～56NM 離岸56～86NM 著しく離岸：86NM～

(いずれも正南方向)

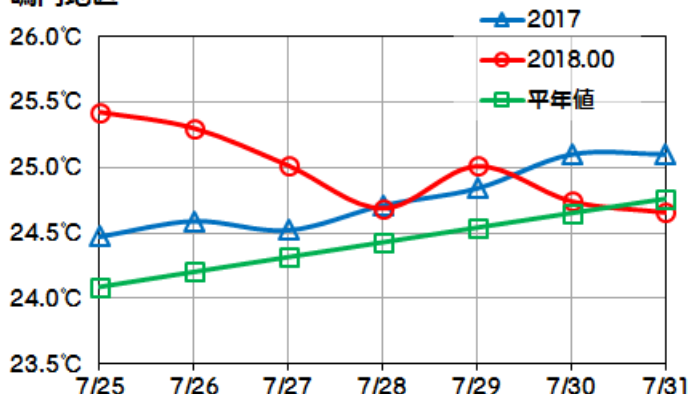
海況図は、平日夕方に水産研究課HPの「地先水温情報」のページに、前日分と当日分を掲載しています。

2. 地先水温（7月25日～7月31日）

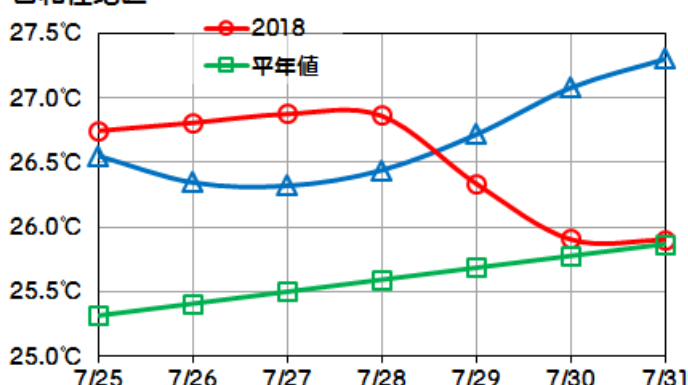
鳴門地区の地先水温は、「やや高め」から「平年並み」の24.7℃～25.4℃で推移した。

日和佐地区の地先水温は、週の前半は「やや高め」であったが、後半は台風の影響で「平年並み」となり、25.6℃～26.9℃で推移した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並：平年値±0.5℃未満、やや高め/やや低め：平年値±0.5℃以上1.5℃未満
高め/低め：平年値±1.5℃以上2.5℃未満、かなり高め/かなり低め：±2.5℃以上

※平年値 1982年～2016年の平滑平均値

3. 週間予報（8月1日～8月7日）

黒潮は、室戸岬沖では「やや離岸」、潮岬沖では「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「平年並み」から「やや高め」の24℃から25℃台、日和佐地区は、「平年並み」から「やや高め」の26℃から27℃台で推移する見込み。

漁況 2018年7月23日～7月29日（旧暦5月31日～6月7日）

1. 紀伊水道（標本漁協数:3）

船びき網では、シラスが大きく減って9.8ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.7ト、タチウオが大きく減って特大主体に0.1ト水揚げされた。

延縄では、ハモが6.3ト、タチウオが減って特大主体に0.5ト水揚げされた。

小型定置網では、イサキが増えて大主体に0.8ト、マアジが増えて小小主体に0.6ト、マルアジが増えて大主体に0.3ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが増えて3.7ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協数:4）

海部沿岸では台風の影響で操業が少なく漁獲量は減少した。

延縄ではアカムツが減って0.4ト、カサゴが大きく減って特大主体に0.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが大きく減って小小主体に0.5ト、マサバが大きく増えて小主体に0.4ト、ウルメイワシが大きく減って0.3ト、カタクチイワシが大きく減って0.3ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※	
					1日1隻あたり 平均漁獲量			
紀伊水道	船びき網	78	シラス	9,750	125		↘↘	
	釣り	24	イサキ	679	28	大主体	↘	
		6	タチウオ	136	23	特大主体	↘↘	
	延縄	70	ハモ	6,336	91	中主体	→	
		53	タチウオ	515	10	特大主体	↘	
	小型定置網	20	イサキ	819	41	大主体	↗	
		20	マアジ	628	31	小小主体	↗	
		17	マルアジ	287	17	大主体	↗	
		13	アイゴ	130	10		→	
		7	ブリ	127	18	めじろ主体	↘↘	
		18	マダイ	125	7		↘↘	
		底びき網	43	ハモ	3,654	85	中主体	↗
	26		えそ類	192	7		↘	
	17		マダイ	134	8		↘	
	海部沿岸	延縄	33	アカムツ	384	12		↘
			8	カサゴ	136	17	特大主体	↘↘
小型定置網		27	マアジ	505	19	小小主体	↘↘	
		8	マサバ	376	47	小主体	↗↗	
		15	ウルメイワシ	288	19		↘↘	
		2	カタクチイワシ	269	134		↘↘	
		14	ケンサキイカ	247	18		→	
		7	さば類	232	33	小小主体	↗↗	

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘